

ようこそ先輩シリーズ

実施レポート

第三弾

「ようこそ先輩」とは？

窯業技術支援センター伝習生・研究生の皆さんに、益子焼伝統工芸士をはじめとした卓越したやきもの技術を持つ先輩方の技と心に触れてもらう機会を！と平成25年度から始められたものです。

益子焼伝統工芸士会の全面的なバックアップを頂いています。

テーマ「ロクロを楽しむ」

ロクロは一生をかけて学ぶものとも言えます。第3弾はロクロ実演を中心に、ロクロの“技”を紹介していただきました。

開会あいさつ



「技」とは？

技とは何か。答えは人それぞれかもしれませんが、講師は「皆には分からない、自分だけのやり方」と教えてくれました。

「技」を取り入れる！

技は取り入れてください。

手のつくりが人それぞれのため、ロクロにも人それぞれのやり方があります。

人の技はそのままでなく、自分にあわせて取り入れるのが良いです。



講師のロクロ道具

ロクロ道具は成形する形にあわせてそれぞれ作るのが基本です。経験を積んだ陶工は多くの道具を持っています。



成形品全体に金属ヘラを当て、硬い印象に仕上げる「技」

成形品全体にナデ皮を当て、柔らかい印象に仕上げる「技」





急須などはめあい部分を、爪を使って一気に仕上げる「技」

スポンジを使って、成形と同時に表面を一気に仕上げてしまう「技」



一生勉強！

「良いものをたくさん見て下さい。

「良いもの“だけ”を見て下さい。

「良いものを見る、そして

自分だったら、ここをこうする！

・・・と自分なりに考えることです。



作り方の心構え

人に負けたくない！という心意気

いいものを作りたい！という情熱



どんな事柄でも、仕事となれば嫌なこともあります。
それでも、見本より良いものが出来たときは嬉しい、
売れるようになれば楽しい、といいます。

「人生はやまびこ。オーと言えばオーと返る。

「人に怒れば相手も怒る。愚痴を言えば相手も嫌な思いをする。

「だから感謝の気持ちで接しよう。アリガトウを忘れずに。

「嘘をつかずに正直に。自分が悪いと思ったら、勇気を出して謝ること。

「そうすれば、きっといい人生を送れるのではないだろうか。

講師紹介



江川 崇 氏

平成25年度 ようこそ先輩第3弾 講師

江川製陶所窯主

陶歴：

昭和22年 益子町生まれ

昭和42年 窯業指導所伝習生

昭和43年 家業・江川製陶所にて製陶に従事

昭和50年 佐久間賢司氏に師事

昭和53年 江川製陶所五代目窯主となる

平成9年 益子焼伝統工芸士に認定